

佳作

さと子ばあば

静岡県
静岡市立松野小学校二年

山本 里菜

わたしのばあばは、はたらきものです。ばあばは、さんぎょうはいきぶつを分けるしごとをしています。わたしは、さんぎょうはいきぶつというのは、ただのごみだと思つていたけれど、こうじょうやこうじげんばから出る大きなごみのことでした。だから、あんなによごれてかえつてくることもあるんだ、と思ひました。雨の日もかっぱをきてしごとをやります。ほんとうに、はたらきものだと思ひます。

わたしは、この前、ばあばのおしごとを手つだいにしてみました。外でいろいろなものをはこびました。とてもあつかつたので、あせがいっぱい出たたいへんでした。わたしは、のどがかわいて水がのみたくなりました。ばあばを見たら、あせがほとほと出ても休まないでやつていました。だからわたしも、休むのをやめてつづけました。ばあばはしごとがはやくてさつさとやつています。わかい人たちがちよつと休んでもばあばは気にしないでやつていました。そんなばあばは、すごいと思ひました。わたしは、ばあばが一人でできないしごとを手つだつてあげました。大きなタオルを二人がかりで切りました。

そのあと、ごみの中から、じしゃくで、くつつくのどくつつかないのに分けました。それは楽しかったです。やつと休み

時間になつてすずしいところで休みました。ばあばも、「つかれたー」。

と言つて、わたしといつしよにおやつをおいしそうに食べました。ばあばもつかれてたんだなーとわかりました。

ばあばは、たいへんなおしごとをして、もらったお金で、わたしたちにいろいろなことをしてくれれます。おいしいごはんをこちそうしてくれたり、楽しいところにつれて行つてくれたりします。いつもおせわになっているのは、わたしたちなのに、「いつもみんなにおせわになっているから。」

と言つて、かぞくをりようにつれて行つてくれます。いつもしてもらつてるから、わたしがばあばに、ありがとうを言ひたいです。

はたらきものはあばだけど足がわるいので、わたしは、ちよつとしんばいです。できるだけばあばに立つたりすわたりしなくてもいいようにしてあげたいです。

わたしは、がんばりやさんで、やさしいばあばが大すきです。わたしも、いろいろなことを一生けんめいがんばつて、ばあばのようなおとなになりたいです。ばあばにやさしくしてあげたいです。ばあば、いつもありがとう。